



アンモナイトの発掘に人生をかけた追究者 村本 辰雄

【指導事例 1】

1 主 題 「地域社会の一員として」〔郷土を愛する態度〕

2 ねらい

ふるさとの自然を愛し努力し続けた先人の生き方を知り、地域の一員として自覚をもって郷土を愛する態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、60年もの長い間、化石を掘り続け、「アンモナイトおじいさん」と呼ばれていた村本辰雄の生き方に触れることを通して、地域の一員として自覚をもち、自然や郷土を愛する態度を育てることをねらいとしています。

前半では、夢中で化石を拾い集め、新種のアンモナイトを発掘した村本辰雄の姿について触れています。

後半では、遠い昔のロマンをいつまでも追いつけたいと強く願い、化石を掘り続ける姿や、自然を守っていくことの大切さについて語る村本氏の思いや行動について触れています。

指導に当たっては、困難を乗り越え、アンモナイトの発掘に人生をかけた村本氏の生涯や自然環境を大切にしてきた思いについて多面的・多角的に話し合い、自分たちの町やふるさと北海道を愛し大切にしようとするということについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例①「辰雄が化石を掘る意味について話し合う活動を通して、郷土の大切さに気づき、それらを守り、受け継いでいこうとすることの大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の自然や環境について話し合う。 ○ 自分たちの住む地域の自然や環境について、どのようなことを知っていますか。また、よさは何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・森に囲まれており、近くの川では魚が釣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「アンモナイトの発掘に人生をかけた追究者」を読み、話し合う。 ○ 辰雄にとって「化石」を掘ることの意味とは、どのようなことでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・化石は大昔を教えてくれる自然からの贈り物。 ・化石を通してもっと自然に親しみ、自然の不思議な力に目を向け自然を大切に守ってほしい。 ◎ 三笠市民は、どんな思いでジオパーク認定の道を選んだのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・辰雄のアンモナイトの化石に対する思いを受け継ぎたい。 ・世界初のアンモナイトや多くの化石を大切に、郷土の自然や天然記念物などをこれからも大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の化石への思い、自然に対する畏敬の念について話し合い、人間理解を深めさせる。 ・登場人物が三笠の化石を掘ることで、自然の偉大さや不思議さに気づき、これからも大切にしていきたいという気持ちを多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● ふるさとや北海道をよりよくするために自分ができることを考える。 ○ あなたは、自分たちの住む地域やふるさと北海道をよりよくするためにどんなことをしようと思えますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・受け継がれてきた自然や環境を大切にしていきたい。 ・伝統や文化を守ることも大切だが、地域の活性化や発展も考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に関わる自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 地域の自然や環境、郷土の大切さについて気づき、それらを守り、受け継いでいこうとする態度の大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※現在も、自分が住む地域や北海道に思いを寄せ、自然環境や伝統、文化を大切にしている人たちの取組などについての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の印象に残る取組等を語るにより、自分たちが住む地域の自然や環境を大切にしていこうとする態度が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「自己の向上を図り、充実した生き方を追求する」〔向上心、個性の伸長〕

2 ねらい

自己の生き方を見つめ、自己の向上を図るとともに、充実した自己の生き方を追求しようとする心情を育む。

3 展開例—②「村本辰雄の生き方について話し合う活動を通して、自己を肯定的に捉えるとともに、自己の優れている面などの発見に努め、よりよく個性を伸ばして充実した生き方を追求することのすばらしさについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 化石に魅せられ探し続けた辰雄の人柄を考えてみよう。

- ・真面目な性格で、たった一個のノジュールを探すのに何ヶ月もかけるくらい努力する人。
- ・自分が思い続けることにまっすぐ向かっていく人。
- ・雨の日も風の日も休むことなく、決して諦めずに努力を続ける意志の強い人。

(2) 辰雄は、なぜ化石を追い求めたのでしょうか。

- ・古代のロマンをいつまでも追いつけたいと思ったから。
- ・化石は、太古の世界の出来事や時代の移り変わりを詳しく知らせてくれるものだから。
- ・化石を通して、郷土の自然を感じ、自然のもつ不思議な力に目を向け、大切にしていけることが大切だと思ったから。

(3) 自分のよいところは、どんなところだと思いますか。また、よいところを伸ばすために、どのようなことをしようと思いますか。

- ・部活動で試合が近付いたとき、目標に向かって練習を続けることができた。目標には届かなかったが、また新しい目標に向かって努力を続けたい。
- ・誰とでも話ができるので、困っている人に声を掛け、力になりたい。
- ・今、努力していることを続けて、自分の夢を叶えたい。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 理科

第2分野の大地の成り立ちと変化の学習において、単元の導入で本教材を活用し、辰雄の化石発掘への思いを取り扱うことを通して、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた探究課題を設定した学習活動において、本教材を活用し、郷土を思う辰雄の生き方に触れることを通して、郷土を発展に尽力した人々の貢献や苦勞を感じ取り、郷土への感謝や先人への畏敬の念を育むことができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

学級活動の主体的な進路の選択や将来設計に関する学習において、本教材を活用し、辰雄の化石発掘にかけた生き方に触れることを通して、自己のよさや個性、身の回りの環境をよさについて考え、進路や社会に関する適切な情報を収集・整理し、将来を見通した生き方を選択・形成しようとする意欲を高めることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、生徒の成長の様子やよさについて話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が自分なりの方法で自分の個性を伸ばして充実した生き方を送ろうとする意欲を高めることができるようにする。